

編集・発行：滋賀県立琵琶湖博物館 交流センター 2011 年度はしかけ担当学芸員 老・大塚・加藤
 住所：〒525-0001 滋賀県草津市下物町 1091 電話：077-568-4811 ファックス：077-568-4850
 電子メール：hashi-adm@lbm.go.jp 琵琶湖博物館ホームページ：http://www.lbm.go.jp

～ 目 次 ～

1. お知らせ

- (1) はしかけ登録講座のご案内 (11/6)
 (2) 第 7 回 淡海こどもエコクラブ活動交流会のご案内 (12/4)

2. はしかけグループの活動報告と予定 (11-1 月)

- ① うおの会 ② 淡海湧き水の会 ③ 近江はたおり探検隊
 ④ 近江昔くらし倶楽部 ⑤ 温故写新 ⑥ からすま通信局 ⑦ 湖(こ)をつなぐ会 ⑧ ザ! ディスカバはしかけ
 ⑨ 里山の会 ⑩ 植物観察の会 ⑪ たんさいぼうの会 ⑫ 田んぼの生き物調査グループ ⑬ びわたん
 ⑭ ほねほねくらぶ ⑮ 緑のくすり箱 ● 生活実験工房からのお知らせ

3. その他注意事項

- (1) はしかけグループの活動に初めて参加する場合
 (2) はしかけ活動中に事故にあった時は
 (3) はしかけグループ担当者へのご願い
 (4) 会員証の携帯のご願い

4. 編集後記

5. 特集

・博物館のひとつと

会員数 … 340 人

グループ数 … 15 グループ

(2011 年 10 月 27 日現在)

1. お知らせ

(1) はしかけ登録講座のご案内

はしかけ会員に初めて登録を行う場合は、登録講座を受講して下さい。

1. 日時：2011 年 11 月 6 日(日)午前 10:00～11:30
 2. 場所：琵琶湖博物館 セミナー室
 3. 内容：
 10:00～10:15 琵琶湖博物館のはしかけ制度とは？(交流グループはしかけ担当学芸員より説明します)
 10:15～11:10 各はしかけグループの活動内容紹介(各グループ担当者から、5 分程度の活動内容の説明があります。)
 11:10～11:30 新規参加者への登録手続きの説明とボランティア保険の納入

4. ボランティア保険について

はしかけ会員の登録を行う場合は、新規登録者アンケートに記入するだけでなく、ボランティア保険に加入する必要があります。
 2011 年度のボランティア保険料は、420 円です。

5. はしかけグループ担当者へのご願い

上記の 10 時 15 分～11 時 10 分の間に各グループの活動紹介を行います。このニューズレターの掲載順に、紹介を行いますので、各グループの担当者は、セミナー室に集まって下さい。出席できない場合は、11 月 3 日(木)までに、はしかけ担当学芸員(老)までご連絡ください。

(2) 第 7 回 淡海こどもエコクラブ活動交流会のご案内

自然観察や生き物調査、ゴミ拾いや分別回収など、環境学習や保全活動を行っている県内のこどもエコクラブの活動交流会です。ご関心のある方は子ども達の発表を見に来て下さい。

日時：2011 年 12 月 4 日(日)10:00～12:30 発表会、15:30～16:00 表彰式

場所：琵琶湖博物館ホール

問い合わせ先：加藤 kato-osamu@pref.shiga.lg.jp



2. はしかけグループの活動報告と予定(11-1月)



①うおの会

【活動報告日の活動会員数(のべ) 46名】

グループ代表アドレス: uonokai@lbm.go.jp

グループ担当者: 松田征也

【お知らせ】

定例調査などの会員への連絡は、電子メールのみとしています。連絡を希望される方は、受信を希望されるアドレスから、件名を「連絡希望」と明記して、本文にお名前のみ入力の上、uonokai@live.jp までメールを送信してください。(携帯メールの場合、画像等の問題で送信できない場合があります)。手続き未済の方は至急お願いします。なおこのアドレスは出欠連絡のみです。その他の連絡・ご質問などは uonokai@lbm.go.jp までお願いします。

【活動報告】

■ 2011年9月4日(日) 運営会議

場所 琵琶湖博物館応接室 時間 10:00~13:00 参加者 11名

議題 1) 9月18日(日)の定例調査について; 集合場所・調査場所の変更について

2) 本の出版について; 題名『魚つかみを楽しむ 一魚と人との新しいかわり方』新評論社刊 236頁 価格2,000円
9月中に刊行予定 これまでのうおの会の運営にお世話になった方・組織に献本する。

3) うおの会の今後のあり方、データの管理について

上記議題について報告され協議した。

■ 2011年9月18日(日) 第80回定例調査 「法竜川定点調査」

集合場所 守山運動公園野球場横駐車場 時間 10:00~12:30 参加者 14名

「イナズマロックフェス」開催で博物館は使用できないため、集合場所を変更し、調査終了後の経年変化データ検討会は省略しました。また、調査地点環境の悪化で調査困難のため、調査定点を20定点から10定点に減らして実施しました。(村上)

9月18日、雲は多くても日差しの強いなか、法竜川定点調査が行われました。運動会延期の影響で岐阜からの新入ご一家が欠席されましたが、残り14名は時間前にそい5チームに分かれて出発しました。さまざまな状況の変化を踏まえ、各チーム2地点をタモ網での調査ということになりました。

今回確認された魚種は18種類にも及びました。守山市内の川にも多様な在来魚がいることが改めて確認されました。今回の調査における全員の感想は「見える魚は採れない」ということで、山ほど見えているオイカワやムツ類・ティラピアが網に入らず、ストレスの多い調査でした。(石井千津)

■ 2011年10月16日(日) 第81回定例調査 「外来魚駆除釣り大会」への参加

場所 草津市志那中湖岸緑地周辺 10:00~ 午後、個別調査

参加者 21名

当初の予定では南湖東岸周辺を調査することとしていたが、諸般の都合により、琵琶湖を戻す会主催の「外来魚駆除釣り大会」へ参加し、外来魚の実情を知ることによってその問題点や課題を考察することとした。諸般の都合の1つに、主催者の琵琶湖を戻す会の実行委員にうおの会のメンバーが何人も含まれていることにもあった。1 昨日からの雨も夜半には止み、絶好の釣り日和といたいところだが、風と波のため当りに合わせるには少し技術が必要であったようで、釣果は人によって様々ではあったが、本日の活動を通じて少しは駆除活動の一助になったようにも思う。新メンバーも5人が参加され、楽しく時を過ごした。

午後は、数人ずつがまとまって個別調査のため各地へ出かけていった。

(村上)

【今後の活動予定】

定例調査への参加は、うおの会会員登録および参加の事前申し込みが必要です。

定例調査に参加するときは、はしかけの名札を着用してください。

定例調査に参加するにあたっては、水に入れる装備で、採集用具などを用意してください。

2011年11月6日(日) はしかけ登録講座

2011年11月20日(日) 第82回定例調査 和邇川・喜撰川調査 …当初の予定を変更

集合 和邇公園駐車場(大津市和邇中 旧街道和邇川沿い北西) 10:00

2011年12月18日(日) 第83回定例調査 日野町周辺調査

集合 日野町役場駐車場 10:00

2012年1月15日(日) 勉強会 内容: 未定

琵琶湖博物館会議室 10:00~



②淡海湧き水の会

【活動報告日の活動会員数(のべ) 11名】

グループ代表アドレス: well_spring@lbm.go.jp

グループ担当者: 芳賀裕樹

【活動報告】

- 8月21日(日) 10:00-16:00 彦根市南彦根駅すぐの平和堂ビバシティで開催された「環境と科学のフェスティバル」に本会として参加いたしました。非常に多くの親子連れが来てくれました。

【活動予定】

- 11月6日(日) 10:00-11:30、はしかけ登録講座(琵琶湖博物館)で本会の紹介をおこないます。
- 11月20日(日) 10:00にJR湖西線・坂本駅改札口集合で、第三回の秋のサンプリングをおこないます。日吉大社の東本宮の湧水を調べます。その後、門前の鶴喜そばで昼食を食べながら、懇親会です。興味のある方は、ぜひ参加してください。
- 12月9日(金) 18:30 JR山科駅改札口集合で、駅から徒歩5分の「てつぺん」で忘年会を開きます。今後の本会の方向性などを話し合います。興味のある方は、ぜひ参加してください。

今回から新たに参加したいという方は、上記グループ代表メールアドレスまで予めご一報ください。



③近江はたおり探検隊

【活動報告日の活動会員数(のべ) 9名】

グループ代表アドレス: oumihataori@lbm.go.jp

グループ担当者: 中藤容子

工房の綿がはじけています。今年は天候が不順だったので、心配していましたが、去年と同じくらい収穫できそうです。ここ数年収穫できなかった海島綿も実がはじけそうです。

【活動報告】

■織姫の会

- * 9月21日(水)(参加者:3名)
台風のため、参加者少。各自糸紡ぎを行いました。
- * 10月15日(土)(参加者:6名)
各自、綿繰り、糸紡ぎをしました。

【活動予定】

■織姫の会 11月13日(日)、23日(祝)、12月3日(土)、21日(水)、1月18日(水)

11月13日は日曜日に行います。いつもとちがうので気をつけてください。

織姫の会は、現在作業の予定がないので、何かやりたいことがある方はご提案ください。



④近江昔くらし倶楽部

【活動報告日の活動会員数(のべ) 38名】

グループ代表アドレス: mukashi@lbm.go.jp

グループ担当者: 中藤容子, 野間孝男

私ごとですが、4月より湖西の山間部・大津市葛川の古民家に一家で移り住んで半年あまりになります。五右衛門風呂に汲み取り便所、山水を使い、電気をあまり使わない暮らし…も板についてきました。その中で気づいたことを、今回は少しご紹介しましょう。

わが家の前は安曇川で、大雨が丸二日ほど降ると家の前の国道は通行止めになります。ここに住んで、もう4回も通行止めを経験しました。9月の台風12号のときは隣の集落まで避難勧告が出て、河原にあった畑もすっかり流されました。しかし、そんな河原に犬の散歩に出かけると流木がたくさん流れ着いていて、散歩ついでに毎日拾うだけで、お風呂の燃料に十分足りるのです。「自然とうまくつきあっていこう」、そんな意識が芽生えた気がします。

また、この秋、地元の運動会と文化祭も経験しました。保育園・小学校・中学校と地域が合同です。子どもたちも親も地域の方々も先生もいっしょにパン食い競争です。ビンゴゲームまであります。文化祭では子どもたちと先生と地域の方々の作品が一緒に並んでいます。我先にと場所取りしたり、わが子を追いかけて撮影したり、そんな風景はありません。赤ちゃんからお年寄りまでみんなが集って参加して楽しめる貴重な機会。昔はどこでもこれが普通だったのでしょうか。「地域の人々とともに暮らす」感覚が生まれました。

そんな中、縁あってヤギを飼うことになりました。そのための小屋を建てていると、周りの人々が寄ってたかって協力してくれるのです。誰かが指示しているわけでもないのに、一人ひとりが道具持参でやってきて、自分の仕事を見つけてやってくれて、それがうまく

組み合うのです。普段からみんなで力を合わせて暮らす。そんな経験をしてきたからこそできることでしょう。

改めて、昔のくらしが私たちに与えてくれる力に気づかされます。近江昔くらし倶楽部の活動の中でも、こうした意識や感覚を大事にして、集ったものたちで力をあわせてその場にあるものを楽しむ経験を提供していきたいなあと考えています。

【活動報告】

■工房の田んぼ行事(十旬の味をわかちあう会)

* 8月21日(日)(参加者18名(内子ども5名)) かかし作り+本格派カレー&ナン

JICAの研修生の方々も一緒に立派なかかしをつくり、7月に仕込んだ本格的なカレーをみんなでつくったナンにつけて頂きました。

■古民家くらし体験(お馬と畑・奥加河荘)

* 9月6日(火)(参加者2名)台風で倒れた薪を積みなおしたり、お馬さんに乗せてもらったりしました。

*10月5日(水)(参加者3名)兵庫からシードセイバーのDさんも来られ、鶏小屋の修理を行い、雨の奥加河荘の縁側でのんびり過ごしました。放し飼いの鶏が雨を全く気にせず走り回っていたのが印象的でした。

■古民家くらし体験(葛川かや葺きの家)

* 9月8日(木)(参加者4名)古民家の囲炉裏を囲む板間で、繕い物、ヨシ笛づくりなどを行いました。参加された方や地元のおばあちゃんや来館者の方々との交流もはずみしました。

*10月18日(火)(参加者5名)囲炉裏の火を囲んでSさん作のお箸でお弁当を食べました。おうみこっとな夢つむぎのIさんも参加して、今年収穫した綿の綿繰りや糸紡ぎも行いました。

■工房を楽しもう!「学びあいの会」

* 9月14日(水)(参加者6名)雑穀カフェと共催で、雑穀を使った料理を作りました。持ってこられた手作りのお菓子やジャムもみんな楽しんでました。実際に古民家暮らしをされている方もいて、終了後、葛川の我が家をみんなで見学することになり案内しました。

【活動予定】

特に明記しているもの以外は、申し込み不要、参加費無料です。必要なものはみんなで持ち寄りましょう。

(◆は他団体主催の行事です。)

■工房を楽しもう!

*12月21日(水)、1月18日(水)10時~15時、生活実験工房にて、「織姫の会」同時開催。

自分のやりたい手仕事を工房に持ち込んでみんなで楽しめます。(ヨシ笛づくり、綿繰り・糸紡ぎ、野草採集・加工などなど)

学びあいの会もできます。心と体の整え方、暦や暮らし方など、互いに学びあいましょう。学びたい、教えられるテーマ募集!

(合気道・新体道、呼吸法、ゆらし整体、タッチフォーヘルス、地球暦など)

□旬の味をわかちあう会(工房の田んぼ行事 連動企画)

10時から、生活実験工房での田んぼ行事のあと、持ち寄り食材と屋外展示の作物で季節の味を楽しみます。

* 11月13日(日) 収穫祭 * 12月23日(祝・金)もちつき * 12月25日(日)門松・しめ縄づくり

* 1月15日(日)どんど焼き、漬物づくり

■古民家くらし体験(お馬と畑・奥加河荘)

馬と鶏、犬猫と一緒に放し飼いにしている大津市大石富川のYさん宅を訪ねて、田畑や家の作業をしたり、改装した古民家の空間を楽しんだりします。

*11月8日(火)、12月8日(木)11時~14時半(お弁当持参)参加希望の方は中藤まで。

■古民家くらし体験(葛川かや葺きの家)

糸づくりや繕い物、ヨシ笛・草履などの細工づくりなど、古民家の空間に手仕事をもち込んで、みんなで楽しく作業しましょう。

* 11月15日(火)・12月6日(火) 10時半-15時 葛川かや葺きの家にて(大津市葛川坊村町)

◆おうみこっとな守山のこっとな体験

毎月第1・3木曜日に、おうみこっとな夢つむぎの池田さんのご自宅(守山市)で、綿から糸・布をつくる体験を行っています。

* 12月1日(木)は、近江昔くらし倶楽部で応援に行く予定です。参加希望の方は中藤までお知らせください。

◆おうみこっとな夢つむぎ・綿つみイベント

*11月3日(祝・木) *11月23日(祝・水) 10時~15時、彦根市本庄町の綿畑~本庄公会堂にて。

「綿づくり」を通して「人の輪」を広げようを合言葉に彦根でかつての綿栽培を再現して3年目。畑で綿つみのあと、公会堂で昼食、糸紡ぎ機織り体験も行います。参加費:大人1000円、子ども500円、乳幼児無料(昼食・保険付)。持ち物:お茶、長靴、タオル、帽子。集合場所:みずほの郷(澤酒店、本庄町郵便局近く)

※問い合わせ・申し込み 電話0749-43-7201、E-mail:sakasyo2102@leto.eoneet.ne.jp

◆古民家Z再生プロジェクト(NPO 子どもネットワークセンター天気村)

湖西の葛川細川にある鯖街道の旅籠だった「古民家 Zutto〜ずっと〜」の再生や、「暮らし遺産」の発見・体験を行う活動を応援しています。

* 11月23日(祝・水)10時～15時「細川てづくり市」古民家 Zutto(大津市葛川細川町)にて
てづくりのもの、おもちゃ、小物が並びます。つくり手とお話ししながら、古民家空間を楽しめます。出展者も募集しています。
※問い合わせ・出展申し込み先:子どもネットワークセンター天気村(澤田) TEL.077-564-7868 FAX.077-564-7918

◆浜大津こだわり朝市

* 11月20日(日)、*12月18日(日) 毎月第三日曜、8時～正午、京阪電車浜大津駅、改札出てすぐにて
生産者と消費者の顔のみえる関係づくりを目指して、8年ほどの実績のある朝市。たくさんの手仕事に出会える貴重な機会です。
※問い合わせ先:浜大津朝市運営委員会 暮らしっく広場 TEL.077-524-7826(金土日)、077-533-1941(月～木)

【ブログのご案内】

近江昔くらし倶楽部などの活動予定は、「近江昔くらし倶楽部 ブログ」でもお知らせしています。このニューズレターもアップしています。どうぞご覧ください。 <http://lbmmukashi.shiga-saku.net/>



⑤温故写新

【活動報告日の活動会員数(のべ) 7名】

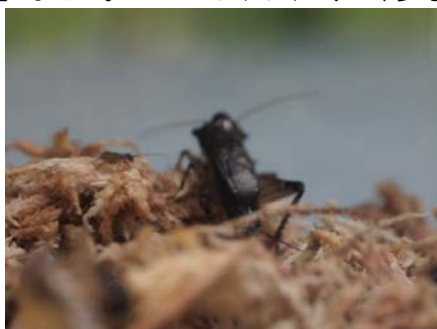
グループ代表アドレス: onkosyashin@lbm.go.jp

グループ担当者: 秋山廣光

【活動報告】

9月の予定は3日としましたが、天候などの理由から10日になりました。参加者は、3名でした。
鳴く虫ギャラリー展示に役立ちそうな草原の写真やバッタ・コオロギ写真を撮るべく、博物館の周りを徘徊しました。出会えたコオロギはシバズやマダラスズと言った超小型のコオロギで、撮影難度の高い小さな虫たちでした。被写界深度が稼げない、速いシャッターが切れない、相手の動きが速くぶれる、など普通には写し止められない相手でした。(シバズ写真、白矢印・体長5mm)

展示室内のコオロギも動きが制限されているものの、暗いこととガラスケースの中でゆがんでしまっとうまく撮せません。ミツカドコオロギが、展示ケースの中で繁殖して幼虫が一杯出ています。正面から見るとけったいな顔をしています。横顔は一般的なオカメコオロギやツツレサセコオロギの姿と大して違いません。ブレブレぼけぼけですが、参考写真を載せておきます。



【活動予定】

次回の予定は、10月22日で、勉強会の予定です。



⑥からすま通信局

【活動報告日の活動会員数(のべ) 3名】

グループ代表アドレス: karasuma-press@lbm.go.jp

グループ担当者: 芳賀裕樹

【活動報告】

現在、企画展示で開催中の「こまった! カワウ」の担当学芸員である、亀田佳代子さんにインタビューしてきました。みどころなどもご紹介頂きましたので、今回の「博物館のひとびと」をぜひご一読ください。

【活動予定】

「博物館のひとびと」は継続していく予定で、新しい企画も募集中です。



⑦湖(こ)をつなぐ会

【活動報告日の活動会員数(のべ)3名】

グループ代表アドレス: ko-tunagu@lbm.go.jp

グループ担当者: 老文字

【活動報告】

10月2日はお天気も良く、運動会のシーズン最盛期だったので、親子連れの入館者もたいへん少ない日でした。館内が比較的静かで活動者も人数が少なく、子ども達に語りかける方法でもって紙芝居をやってみようと、マイクなしで試してみました。紙芝居の合間に子ども達と会話をしながら、いい感じですよめることができました。しかし館内が少しざわめくと、わずかゴザ一枚分の距離でも後ろまで声がとどかないことがわかりました。2回目はマイクを使って、音量を落としながら上演しようと思いましたが、今度はなかなか子ども達が集まらず苦労しました。それでも7月のイベントの時に作った「生きてる琵琶湖」の顔だし看板をアトリウムに並べておくと、子ども達が楽しそうに写真を写していました。

【活動予定】

11月6日(日)はしかけ登録講座

11月27日(日) 紙芝居上演 13:00 実習室2 集合



⑧ザ! ディスカバはしかけ

【活動報告日の活動会員数(のべ)3名】

グループ代表アドレス: hashi-discov@lbm.go.jp

グループ担当者: 芦谷美奈子, 山田陽子, 藤岡千裕

【活動報告】

活動内容	実施日	なにを	どうした
イベント	2011年9月の土日	おちゃめなカボチャ 2011	今年も生活実験工房とはしかけさんに協力していただきオカメカボチャを収穫することができました。ありがとうございました! おかめさんの顔のような凹凸が自然とできる不思議なカボチャに、自分だけの顔を思い思い制作しました。 (参加人数: 172名)
イベント	2011年9月19日 (月・祝)	トンボ・とんぼ	トンボのこどもの大冒険を紙芝居で上演しました。そして、トンボにちなんだクイズや、やじろべえの工作をみんなで楽しみました。(参加人数: 25名)



カボチャの作品を展示室の表の壁に、飾っています。ぜひ見に来てください☆



上手にできたね♪



真剣です!



トンボの紙芝居、おもしろかったね~♪

【今後の活動予定】

日付	時間	イベント名	場所
2011/11/1(火)~ 2011/11/20(日)	9:30~16:00	大学生のお兄さん・お姉さんがつくった ディスカバリーボックス	ディスカバリールームのカウンター

学芸員になるための勉強をしている大学生がディスカバリーボックスを作りました。一週間に1つずつ、3つの箱を展示します。どの箱も面白いアイデアが沢山詰まっています「こんな視点もあったのかあ~」と、とても勉強になりました。

★11月6日(日)はしかけ登録講座があります。

★12月にドングリの帽子に布の実をつけるイベントを考えています。

こちらは詳細が決まり次第、ホームページでお知らせします。

ディスカバリールームでこんな楽しいことしたい！などアイデア・提案があれば、お気軽にスタッフまでお声をかけてください。メールも大歓迎ですよ！お待ちしております。



⑨里山の会

【活動報告日の活動会員数(のべ) 28名】

グループ代表アドレス: satoyama@lbm.go.jp

グループ担当者: 寺尾尚純, 楠岡泰

【活動報告】

9月10日(土) そば種蒔活動 参加 8名

飯田、宮本、山川、山川かなちゃん、後長、柳原、前田、吉井の8名で、厳しい残暑の中、生活実験工房前のはたけ横の傾斜地二ヶ所(約 12平米)に、そば畑を開墾しました。草木灰、苦土石灰、肥料投入後、すじ蒔きで信州そば(タキイ種苗)を蒔きました。

昼食は、柳原さん、前田さん準備のしょうが炊き込みご飯、筑前煮、豆腐サラダ、にんにく/ミョウガ/きゅうり漬物などの田舎料理を楽しみました。昼食には楠岡さん引率の中国、マレーシア、コンボからのJICA研修生も参加し、中国の一人っ子制度の現状、コンボの近況・平和について、マレーシアの家族構成など、普段知ることができない事柄の話聞くことができました。

その後山川さんの畑(約五平米)に移動し、すじ蒔きで種蒔を完了。

今回、博物館、山川さん、宮本さん、吉井の四箇所の畑で、そば作りをスタートしました。11月の収穫、12月の手打ちそばづくりが楽しみです。最後は比良とぴあで汗を流し、本日の活動を終了しました。(吉井)

9月29日(木) 9/10に実施した博物館そば畑の現状報告

本日、約3週間ぶりのそば畑は、そばも成長し、"こんなところにそばが植えてあるんだ。"という感じでした。

手前の畑#1は、近くの大きな木の影で発芽、発育にムラが見られました。雑草は、ほとんど目立っていない状態でした。奥の畑#2は、雑草の生育の方が勝っていたため、雑草を根から引き抜き手入れをしましたが、比良、野洲、岩根のそばに比べそば苗の密度が低いようでした。収穫の結果を見るのが楽しみです。本日の観察結果の写真を添付します。(吉井)

琵琶湖博物館里山の会・そば畑 9/29 観察

畑 #1



A: 日当たりが良く発芽良好
B: 日陰のため発芽がまばら

畑 #2



C: 手入れ前(雑草が生育しそばが負けている)
D: 雑草を根から抜き取った後、そば苗まばら、
まだ、つぼみはなし

10月2日(日) どんぐり拾い 参加 5名

本日上午10時から、大津市由美浜の大津湖岸なぎさ公園で、吉井さん、宮本さん、島山さん、山川、佳那子の5名でマテバシイのどんぐり拾いを行い、8リットルバケツ1杯のどんぐりを集めることができました。10月9日(日)10時から、生活実験工房でどんぐり料理と鳥笛作りを行います。昼食にどんぐりご飯を作りたいと思いますので、各自米1合をご持参ください。このほか、クレープ、クッキーなどのお菓子も作りたいと思います。(山川)

10月9日(日) ドングリクッキング & 鳥笛作り 参加15名

琵琶湖博物館はしかけ「里山の会」ドングリクッキング

2011年10月9日(日)10:00-12:40 琵琶湖博物館生活実験工房で、15人が参加してドングリクッキングをおこないました。10月2日(日)に大津市由美浜の「大津湖岸なぎさ公園」で採集したマテバシイのドングリを用いて、ドングリクレープ、ドングリクッキー、ドングリチョコレート、ドングリ釜飯を作ったほか、サツマイモとカボチャの汁物なども加わって、楽しい昼食となりました。
ご参加・ご協力いただいた皆様、ありがとうございました。



【活動予定】

- 10月16日 里山体験教室～夏の巻～本番
- 10月22日 JETs(中学英語・文化交流事業)との合同の針江地区見学
- 11月5日 秋の里山を歩く(琵琶湖博物館観察会)へのスタッフ参加
- 12月 ソバの収穫・手打ちソバづくり



⑩植物観察の会

【活動報告日の活動会員数(のべ)8名】

グループ代表アドレス: shoku-kan@lbm.go.jp

グループ担当者: 芦屋美奈子

【活動報告】

9月24日に竜王の雪野山で観察会がありました。芦谷は、博物館で行事があったので不参加だったのですが、当日は天候にも恵まれハイキング日和だったようです。集合場所を「妹背の里」駐車場にしたのですが、わかりにくかったとのことでした。次回から気を付けたいと思います。

【活動予定】

次回の観察会のお知らせです。はしかけ登録時および更新時に、植物観察の会の希望を出していない方でも、はしかけさんならどなたでも参加していただけますので、ぜひお申込みください。

<12月観察会>

日時:2011年12月10日(土)

集合時間: 午前 10 時。解散時間は、午後 3 時ころを予定。

集合場所: 近江鉄道「河辺の森駅」駅前

行き先: 愛知川河辺林・河辺いきものの森(東近江市建部北町)

交通手段: 【電車】米原・彦根方面からは、近江鉄道「米原駅」9:07 発―「彦根駅」9:26 発―「河辺の森駅」9:56 着。近江八幡方面からは、近江鉄道「近江八幡駅」9:15 発(米原行き)―「八日市駅」9:45 発―「河辺の森駅」9:48 着。貴生川方面からは、近江鉄道「貴生川駅」8:58 発―「八日市駅」9:40 着<米原行きに乗り換え>9:45 発―「河辺の森駅」9:48 着。土曜日なので、SSフリー切符(550 円で1日乗り放題)がお得です。【自家用車】近江鉄道「河辺の森駅」の周辺には駐車場がないと思われるので、解散予定の「河辺いきものの森」の駐車場をご利用ください(「いきものの森」駐車場から駅までは、徒歩で 15~20 分)。

コース: 近江鉄道「河辺の森駅」から徒歩で愛知川に向かい、川沿いを観察しながら南に歩き、「河辺いきものの森」で観察した後に解散予定。

持ち物: 弁当、水筒、筆記用具、雨具などとハイキングができる用意。

その他: 雨天の場合は中止します。

申込: メールの場合は、上記「植物観察の会」アドレスまで。ファックス、電話は、琵琶湖博物館の芦谷美奈子まで。なお、中止の場合にはこちらからメール、電話を致しますので、必ず申し込みをしてください。



⑪たんさいぼうの会

【活動報告日の活動会員数(のべ) 13 名】

グループ代表アドレス: keisou@lbm.go.jp

グループ担当者: 大塚泰介

【活動報告】

8 月 21 日(日)にビバシティ彦根で行われた「環境と科学のフェスティバル」に、たんさいぼうの会からも 5 名が参加しました。今年はテーマが「琵琶湖」だったので、琵琶湖のプランクトンを見せようと思って行っていたのですが、当日蓋を開けてみると動物プランクトンが酸欠により全滅していました(泣)。そこで今年も昨年と同様に、ヨシ帯の付着生物と珪藻プレパラートを見せることにしました。

今年も鳥取の会員さんが、梨を 1 箱送って下さいました。いつものことながら美味しい廿世紀です。現在、鳥取の湖山池の珪藻の写真撮影をしている 3 人の会員さんをはじめ、皆でいただきました。ごちそうさま。

10 月 9 日(日)は、5 月下旬の大雨で流れ 6 月初めも早い入梅で流れた「たんさいぼうの小さな旅」に、3 度目の正直ということで行くことができました。目的は甲賀地域に点在するミズゴケ湿地の珪藻調査で、来年から始める予定の共同研究「古琵琶湖の置き土産～滋賀県南部のミズゴケ湿地群の総合的研究～」の下見も兼ねています(申請通るかな・・・?)。現地案内の助っ人お 2 人を含めて 13 人もの参加があり、2 班に分かれて合計 8 つの湧水湿地、10 地点で珪藻の採集と水質調査をしてきました。人手に余裕があるので、手があいた人たちはトンボとりや植物観察もしていました。私の班は、途中、トンボと戯れすぎて予定時間を超過したり、水量が少なく採水に手間取ったり、(以前に行ったことがある人が私も含めて 3 人もいたにもかかわらず)道に迷ったりして、結局予定よりも 1 時間近く遅れてしまいました。それでも天候にも恵まれ、皆で調査を楽しむことができました。

ミズゴケは pH 6 以下の酸性、あるいは EC(電気伝導度)が 5 mS/m 以下の低電解質でないと生育できないとされています。しかし今回の測定では、pH が 5.2~6.6、EC は 2.4~7.0 mS/cm と、ミズゴケが生えるとされる条件よりもやや高めな値が目立ちました。pH、EC とともに、高値は池になっている場所に集中していました。甲賀地域のミズゴケはオオミズゴケという陸上性の種なので、生えている場所の下流側にある池で採水をする、他の場所からのミネラルをより多く含んだ水の流入によって高めの値が出る模様がです。pH、EC の値があまりにも高いところについては、11 月 7 日(月)の追加調査で再確認をしようと考えています。

【活動予定】

10 月 26 日(水)と 11 月 7 日(月)に、上記「たんさいぼうの小さな旅」の追加調査に少人数で行ってきます。10 月 26 日は野洲市南部のミズゴケ湿地を、11 月 7 日はマツタケ収穫期で立ち入り禁止になっていた甲賀市の湿地を、それぞれ数か所ずつ調査してくる予定です。11 月 12 日(土) 9:30~、研究交流室で第 32 回総会を行います。初めての方もお気軽にお立ち寄りください。



⑫たんぼの生きもの調査グループ

【活動報告日の活動会員数(のべ) 8 名】

グループ代表アドレス: tambo@lbm.go.jp

グループ担当者: 楠岡泰, M. J. グライガー

毎年書いていますが今の時期、稲刈が終わったたんぼにできた水溜りにたんぼのエビ類(大型鰓脚類)の幼生がいるかもしれません。一見ミジンコのように見えますが、良く見ると長い腕状の触角があり、たんぼのエビ類の幼生だということがわかります。

【活動報告】

9 月 3 日(土) たんぼのエビ類同定会 (参加者 8 名)

2011 年度調査で採集した標本をもとに、アメリカカブトエビとアジアカブトエビの違いや、カイエビとトゲカイエビの違いなどを全員で

確認した後、それぞれの標本を同定しました。また、今年度合同調査の中間報告や国際大型際脚類学会で発表する内容について相談しました。

9月11日(日) 国際大型側脚類学会でポスター発表

田んぼの生き物調査グループが行った近江八幡調査の結果をグライガーが台湾台北市で開かれた国際大型側脚類学会でポスター発表しました。

タイトル: Evaluation of the effect of winter soil moisture on the distribution of large branchiopods in Shiga Prefecture,

Japan.

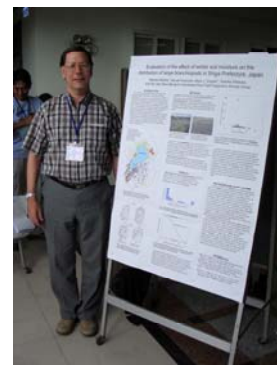
滋賀県の大型側脚類の分布とそれに影響をおよぼす冬季土壌水分

発表者: Masako Maeda, Yasushi Kusuoka, Mark J. Grygier, Taisuke Ohtsuka and the Lake

Biwa Museum Hashikake Rice Field Organization Survey Group

前田雅子、楠岡 泰、マーク・J・グライガー、大塚泰介、

琵琶湖博物館はしかけ田んぼの生き物調査グループ



D. Christopher Rogers 撮影

【活動予定】

田んぼの土壌水分調査および今年度調査の報告会を、冬の間に行います。詳しい日程等はメールでお知らせいたします。



⑬びわたん

【活動報告日の活動会員数(のべ) 18名】

グループ代表アドレス: biwatan@lbm.go.jp

グループ担当者: 大依久人

8月は定例のわくわく探検隊はないのですが、中学生対象の自然調査ゼミナール、彦根ビバシティでの環境と科学のフェスティバル、企画展示室でのワークショップと、いつもの年齢層とは違う人たちとの交流が広がりました。

8月～9月の活動について、以下に各担当者より報告してもらいます。

【活動報告】

琵琶湖博物館第19回企画展示「こまった！カワウ ～生きものとのつきあい方～」ワークシート作成

さまざまなテーマで実施される企画展。毎年、どんなモノと出会えるのかわくわくしますね。でも、モノやパネルがたくさん並んでいると、展示をどんな風に見ればいいのか戸惑う事はないでしょうか？特に初めて見聞きするテーマや内容だったり、小さなお子さんだったりすると楽しみ方がイマイチわからない、ということもあると思います。そんなときに展示を楽しむためのサポートをするのがワークシートであったり、体験プログラムであったりします。



今回は、「カワウ」について探るワークシートを小さな子どもから使える内容で三種類作成しました。ポイントは、実物のカワウ標本や巣のジオラマ、パネル、映像資料等をしっかり見てもらえるような問いを、イラストを使って分かりやすく設定した所です。展示が完成する前の作成で難しさもありましたが、学芸員の亀田さんからご意見をいただき無事に完成させられました。実際に子ども達がワークシートを使って、カワウの色を見つけたり、教え合いながら楽しんだりしているというお話を聞くと、本当に嬉しくなります。私もカワウのこと、少し詳しくなれたようです。

(岩西紗江子)

8月2日(火) 自然調査ゼミナール

毎年夏の恒例自然調査ゼミナールは、県内の中学生が琵琶湖博物館を訪れ一泊二日博物館で時を過ごします。

昼は魚類、貝類、植物、プランクトン、昆虫の班に分かれて、学芸員さんから調査の方法を学び、それぞれの班のまとめを、全員の前で発表しあいます。あつという間の時間ですが、限られた時間でもしっかりまとめて発表する彼らの姿はいつ見てもわくわくします。

にほのうみでおいしい晩ご飯を食べたら、夜の部のスタート。今年のびわたんは「ホネにさわってみよう」というプログラムを実施しました。暗い～中で展示やホネを触って普段とは違う観察の世界を楽しみます。

まずは夜の展示室、触れる展示も昼間より集中して触って、これ何だ？と考えたり、複製と実物の違いにはっとしてみたり。ライトで照らす事でいつもよりじっくりそのものを見ることができたり、骨格標本の影がとてもかっこいいのを堪能したり～。暗い展示室のおかげで、主体的に展示に関わりやすい状態が作り出せたのではないかと思います。そこにびわたんメンバーや一緒に見ている人たちとの会話のやりとりがあり、より一層その展示について考えてもらうことができました。

展示室から戻ってきたら、黒い袋に入った何かが彼らを待っています。慎重に触ってもらって一体これが何かじっくり考えてもらいました。知識と、触ってわかること、仲間の意見をもとに、各グループが推測したものを発表しました。今回は答えが合うことより、自分た



ちの知識や、観察から得られる限られた情報の中から考えるということを中心にしていました。中に入っていたのは今見ることのできる動物の下顎骨でしたが、もし一欠片の化石が入っていたら？わくわくしますね。

様々な情報を比較的簡単に得ることのできる世の中ですが、得た情報から考える体験を博物館でして欲しいと思い今回のプログラムを行いました。後日アンケートを拝見すると、子ども達は自分たちの考えたことより「正解」にこだわっている様子も受け取れたので、こちらの意図を正確に伝えて、安心して取り組んで納得してもらえるプログラムにしていきたいなと思いました。

プログラム実施にあたり博物館職員の皆さん、博物館実習生、学校の先生方にグループに入らせていただき、子どもたちのサポートや安全管理にご協力いただきました。夜遅くまで、ありがとうございました。(肥山 陽子)

8月21日(日)環境と科学のフェスティバル

今年で4回目の開催になった「博物館による環境と科学のフェスティバル」に、今年も参加してきました。半年前から滋賀県内の博物館等の方たちと準備をして来て、いよいよ開催！の当日は・・・午前中があいにくの雨模様。「子どもたちは来てくれるのかなあ？」と心配しましたが、終わってみると700人以上の来場がありました！

今年は、C 展示室の「空から見た琵琶湖」を会場のビバシティに再現！航空写真を使って自分の家や学校を探したり、指令にチャレンジしてもらったりと、博物館の展示を使って楽しむ内容にしました。琵琶湖博物館からは少し離れた彦根では、普段と違うポイントにみんなが夢中になり、質問されても私たちが戸惑ってしまうこともしばしば。でもそれが新しい発見にもつながり、是非博物館でもやってみたいなあと思いました。今回初めて参加のびわたんスタッフのえのものや、藤橋先生の活躍もあり、みんなとっても夢中になっていたのが嬉しかったです。夢中になり過ぎて、航空写真の上に寝転がって家を探す子や、座り込んで何かを探す大人が続出！少し離れて見ると、とっても不思議な光景でした(笑)。はしかけグループ「淡海湧き水の会」で会場へ来られていた芳賀さんも途中で覗きにきてくださり、フロアトークもスタートする場面も。本当に普段の展示室が出張して来たようでした。



実施までの準備や設営を、大依先生や博物館の職員のみなさんに任せっぱなしになってしまったのは、今回のびわたんの一番の反省点です。みなさんのご協力があったからこそ、当日の子どもたちの笑顔があったと思っています。本当にどうもありがとうございました。

8月24日(水)10月1日(土)企画展関連ワークショップ「カワウのことを調べてみよう！」

企画展「こまった！カワウ」展関連ワークショップとして、展示室を楽しむプログラムを実施しました。

まずはみんなでカワウの巣の再現展示を見ながら色々な発見をしてもらいます。羽の色や、ポーズの違い、何をしているのか、どうしてそう思うのかなど、展示をよく見るとたくさんの気づきがあります。他の人の意見を聞いてさらに考えたことなども出しました。こうしたやりとりの中で、参加者は自然と主体的に自由に展示を見ることになんていけます。

その後ワークシートを片手に展示室を回ってもらい、それぞれのペースで展示室を見てもらいました。ワークシートを終えたら、亀田学芸員やスタッフに報告をしてもらいます。今回は残念ながら参加者が少なく、色々な反応を見ることは難しかったのですが、参加してくれた子ども達は展示室をじっくり興味深く見てくれたと思います。(肥山 陽子)



9月10日(土)24日(土)わくわく探検隊「光とかがで写真を撮ろう～水の中の植物編～」



9月のプログラムは日光写真を使って琵琶湖の水草を撮影しようとプログラムです。まずは学芸員の芦谷さんに琵琶湖の水草について説明してもらいました。水面にいる水草もいれば底のほうにいる水草もいて、それぞれ茎が硬かったり柔らかかったり、表面がツルツルしていたりザラザラしていたりして、各々の居場所に合わせた特徴があることがわかりました。

次に、日光写真の説明をしました。日光写真用のカメラは、バインダーや厚紙などを使った、びわたんのお手製カメラ。フィルムの代わりにするのは今回のプログラムの「影の」主役である感光紙。水草で影になった部分にアイロンをかけると・・・あら、不思議。光の当たっていない部分が見事に青くなりました。このとき、子どもたちから歓声が上がりました。写真を見てみると、水草で人の顔を作ってみたり、グラデーションがあったりと非常に個性溢れる作品が出来上がっていました。

最後は作品の発表会。10日はサプライズゲストの浅井三姉妹に作品を見せ、24日は参加者同士で作品の見せ合いっこをしました。それぞれ自分で工夫した点やお気に入りの点についてお話してくれました。

普段あまり気に留めない水草ですが、その水草が琵琶湖の生態系の底辺、縁の下の力持ちとなっています。今回のプログラムをき

っかけに、琵琶湖の動物だけでなく植物についても興味を持ってもらえたのではないかと思います。

(榎本 真司)

【活動予定】

10月8日(土)22日(土)わくわく探検隊「秋の色を探してみよう」

11月6日(日) はしかけ登録講座

11月12日(土)26日(土)わくわく探検隊「木の実で遊ぼう」

12月10日(土)わくわく探検隊「水鳥を観察しよう～色とりどりの冬の水鳥たち～」

この日は来年度の計画も相談します。

12月18日(日)琵琶湖博物館観察会「からすま半島の水鳥を観察してみよう」

1月14日(土)15日(日) わくわく探検隊「博物館でスゴロクをしよう～生活実験工房を中心に～」

わくわく探検隊 は第2・4土曜の開催ですが、1月の第4土曜の28日は休館日になりましたので、その分が15日(日)となります。ご注意ください。



ほねほねくらぶ

⑭ほねほねくらぶ

【活動報告日の活動会員数(のべ) 28名】

グループ代表アドレス:hone-hone@lbn.go.jp

グループ担当者:高橋啓一

今年の春から試し使ってきた新しい水浸け水槽。夏が過ぎた頃には、シカ・クマ・ヤギ・イタチなどが順調に骨になり今まで悪臭騒ぎなどを巻き起こしていた「ほねほねくらぶ」に明るい光が……。ブクブク酸素(エアレーション)をすると匂いをもっと押さえられるという情報も入手。今後改良していく予定です。

【活動報告】

◆9月18日(日)参加者10名

10名の参加に地下の動物標本製作室は活気にあふれました。屋内と屋外作業班に別れ作業を開始。屋外班は、まだまだ残暑厳しい水浸け水槽に浸けていたチョッパー(ヤギ)を汗だくで水洗いしました。屋内班は、ウサギの骨の組み立、タヌキの骨整理、イタチ・ドブネズミの皮剥ぎ除肉、粘土を使った頭骨(ノロジカ)のレプリカ作りなどをおこないました。

◆9月24日(土)参加者5名

外来生物として駆除されたアライグマとタヌキの除肉を行いました。野生化し数が増えているというアライグマは、前肢の指が非常に長く人間のように手のひらがあり、タヌキよりひと回り大きく栄養状態が非常によいものでした。夏からウサギとイタチの剥製作りにも挑戦しています。剥製方法を示した本を見ながら製作中です。

◆10月8日(土)参加者13名

10/9・10に大阪市自然史博物館で開催される「ホネホネサミット2011」にポスター展示の準備に皆で出かけました。自然史博物館の骨つくりの現場や収蔵庫の見学や獣医さんによる安全衛生講習、オオヒキガエル(駆除されたもの)を使った標本つくりにも参加してきました。展示ブースには、博物館や大学を始め色々な骨関係者の自慢の骨標本が並び、骨三昧の1日でした。

◆10月22日(土)活動予定

【活動予定】

11月6日(日) :はしかけ登録講座

11月12日(土)、11月27日(日)

12、1月の活動日は未定です。来年夏の展示会に向け、骨格標本つくりを進めていきます。

活動見学等を希望される方は、上記グループ代表アドレスにお問い合わせください。9、10月の活動日は未定です。

内容は、大阪自然史博物館で開催される「骨サミット」参加に向け展示などの準備をおこないます。

活動見学等を希望される方は、上記グループ代表アドレスにお問い合わせください。



⑮緑のくすり箱

【活動報告日の活動会員数(のべ) 0名】

グループ代表アドレス:midori-k@lbn.go.jp

グループ担当者:草加伸吾

【活動報告】

9月3日(土)～4日(日)の和ハーブ塾が、台風12号の影響を受け、延期になりました。次回は、10月22日(土)～23日(日)の予定です。現在、緑のくすり箱のメンバー2名が、参加予定です。延期になったため、和ハーブ塾の報告会を開けませんでした。11月6日(日)はしかけ登録講座の日に集まり、報告会を開きたいと思います。参加くださいますよう、よろしく願います。

【活動予定】

10月22日(土)、23日(日)...**和ハーブ塾** 岐阜県揖斐川市春日村ほか、伊吹山とその周辺で開催。

11月6日(日)午前10時～午後3時 **和ハーブ塾報告会・グループの研究テーマの検討会**

11月12日(土)・26日(土)、12月10日(土)午後2時～4時 湖南省労働青少年ホームにて、「**癒しのアロマセラピー講座**」緑のくすり箱メンバーは、材料費¥1,000で、参加できます。

11月23日(水・祝) **朽木のブナの森を訪ねよう!**

2012年1月7日(土) **七草粥と廃油せっけん作り**

* 詳細は、グループ代表アドレスまで、メールで問い合わせてください。追って、詳しい案内を送らせていただきます。

11月6日および、23日、1月7日の活動に、参加されるかどうか、**出欠をとりたい**と思いますので、それぞれ、**活動日の3日前**までに、代表のアドレスか、または、琵琶湖博物館 草加学芸員まで、電話で**連絡をお願いします**。



生活実験工房からのお知らせ

※工房の田んぼ行事は、はしかけ・FRの方を対象に行っています。

連絡先: 碓(はざま)登志之 E-mail: hazama@lbm.go.jp

【活動予定】

工房の田んぼ行事について

日時	集合場所	行事
11/13(日) 10:00～	生活実験工房	収穫祭
12/23(祝)	〃	もちつき
12/25(日)	〃	門松、しめ縄づくり
1/15(日)	〃	どんど焼き、漬け物体験

3. その他注意事項

(1) はしかけグループの活動に初めて参加する場合

ニュースレター発行後、活動日・活動場所が変更になる場合があります。グループの活動に初めて参加する時は、事前に、はしかけグループ担当者に確認をお願いします。メールの場合は、グループの代表アドレスにご連絡ください。

(2) はしかけ活動中に事故にあった場合

はしかけ会員が加入しているボランティア保険では、活動中に転んで骨折した場合などに通院費などが保証されます。活動中に事故にあった場合は、速やかに、**社会福祉法人 滋賀県社会福祉協議会(TEL 077-567-3920 FAX 077-567-3923)**に、連絡をお願いします。ボランティア保険についてより詳しく知りたい方は、事務室に保険案内を置いてありますので、はしかけ担当学芸員(老)までお尋ね下さい。

(3) はしかけグループ担当者へのお願い

ニュースレター発行後、活動日・活動場所などを変更した場合は、各グループのメーリングリストを通じて会員に周知をお願いします。同時に、はしかけ担当学芸員(老)まで、変更内容をお知らせください。

(4) 会員証の携帯のお願い

はしかけ活動で来館する場合は、会員証を必ず持参してください。会員証を携帯せずに活動することは、原則的にできません。

4. 編集後記

今号のお知らせでは、淡海こどもエコクラブ活動交流会への案内を掲載しています。こどもエコクラブは、全国に支部をもつ、こどもたちの環境活動を支援するネットワークです。(http://www.j-ecoclub.jp/) 滋賀県の地方事務局を、琵琶湖博物館環境学習センターのスタッフの方々が勤めています。はしかけ会員の中には、すでに淡海こどもエコクラブへ参加されている方もいます。クラブの活動に参加されていない方でも、この機会に、こどもエコクラブの活動発表会を、ぜひ、のぞきにきてください。(老 文子)

次回のニュースレターの発行は、1月21日(土)原稿締め切り、30日(月)印刷、31日(火)発行予定です。報告月は11-1月、活動予定掲載月は2-3月です。第3回はしかけ登録講座(2012年3月4日(日) 10:00～11:30 博物館セミナー室)も活動予定にいられてください。それでは、原稿は、老(fumiko_oi@lbm.go.jp)宛に送ってください。

5. 特集



博物館のひとびと

by からすま通信局

2011.10



○ 第4回 亀田 佳代子さん (学芸員)

現在、開催中の企画展示「こまった！ カワウ」。担当学芸員の亀田さんのおすすめポイントは、本物のカワウを使った営巣木の再現と多彩な鳥の剥製だ。

普段はまず目にする事ができないカワウの巣や、カワウはもちろん日本全国から集められたいろいろな鳥の剥製を間近で楽しむことができるのが、この企画展の魅力のひとつになっている。

この日はカワウ展のスタッフTシャツに鳥のピアスと、鳥ファッションで固めた亀田さん。

しかし実は、もともと鳥好きだった訳ではない。動物全般が好きで、動物生態学を学ぶうち、鳥類が専門の指導教官のすすめで鳥の研究を始めた。

カワウの研究を始めたのは琵琶湖博物館に就職した事がきっかけで、「陸と、海や川との間の物質輸送」という役目を持ったカワウに興味を持った。増え過ぎて社会問題にもなっているカワウの研究を通じ、人との関わりも含めた研究にも興味は広がった。

これからしたい研究は、カワウの糞を人間が除去する事が、森にどのような影響を与えるのかをデータとして出す事。これは、過去に実際、人がカワウの糞を肥料として利用していたという事例に基づいている。動物の生態と環境との関係、更に人間の働きかけという民俗学的な要素も加わった、とてもユニークな研究が始まろうとしている。

これらの研究を通じて、亀田さんは生態系の中での鳥という存在をもっとよく知りたいと思っている。企画展「こまった！ カワウ」のテーマは、「生きものとのつきあい方」。

亀田さんは、これからのカワウと人との新しいつきあい方を、亀田さんにしかできない方法で探そうとしている。

☆亀田さん、ありがとうございました！☆



企画展示「こまった！カワウ」の、カワウの巣の室で
亀田 佳代子 学芸員